

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
<b>【警察本部】</b> <b>新</b> 1 寄居警察署庁舎 建設費 (3か年継続事業・ 第1年次)	調査設計費 〔68,728〕 〔 県債 59,000 一財 9,728〕	317,715 〔 国庫 53,014 県債 262,000 一財 2,701〕	317,715 〔 国庫 53,014 県債 262,000 一財 2,701〕	耐震性向上のほか、老朽化及び狭あい化を解消するため、 寄居警察署の庁舎改築を行う  建設費総額 23億6,726万1千円  建設年度 平成21年度～平成23年度  各年度内訳 (21年度) 3億1,771万5千円  (22年度) 6億922万2千円  (23年度) 14億4,032万4千円  建設概要  所在地 寄居町大字桜沢923(現在地改築)  敷地面積 4,932㎡ (うち隣接地拡張面積1,208㎡)  庁舎 鉄筋コンクリート造 5階 約4,200㎡  車庫・倉庫棟 鉄骨造 2階 約1,200㎡ (仮庁舎として使用)

**【審査の考え方】**

現施設の老朽化、狭あい化及び耐震性の状況を勘案し、必要性を認め  
要求額を措置した。

警察本部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
新 2 警察ヘリコプター さきたまの更新経費		846,273 〔 県債 830,000 一財 16,273 〕	846,273 〔 県債 830,000 一財 16,273 〕	昭和61年12月の導入から22年を経過した警察ヘリコプターさきたま（アメリカ・ベル社製）の更新  1 機体購入費等 8億3,100万円 【さきたまの現況】 ・総飛行時間約8,500時間（平成20年度末見込み） ・平成21年度末には総飛行時間が9,000時間に達し、更新しない場合、1,500時間点検及びエンジンのオーバーホールが必要となる。（経費：1億4千万円）  2 ヘリコプターテレビシステム（本部系）の更新整備 258万1千円 整備してから12年が経過して、故障が頻発している機器の更新整備（平成22年3月更新予定）  3 操縦士・整備士訓練経費 1,269万2千円 更新機を操縦及び整備するための学科訓練及び飛行訓練を受講 操縦士 1人 整備士 2人  【参考】現行ヘリ体制 さきたま（昭和61年12月配備） むさし（平成12年3月配備） みつみね（平成21年3月配備予定）
	【審査の考え方】 機体の老朽化、運航年数及び総飛行時間などの状況を勘案し、更新整備の必要性を認め要求額を措置した。			

警察本部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>新</p> <p>3 銃器使用等突発重大 事案対策経費</p>		<p>34,664</p> <p>(一財 34,664)</p>	<p>34,664</p> <p>(一財 34,664)</p>	<p>銃器を使用した突発重大事案に対応するため、現有資機材の充実・強化及び新たな資機材の導入により検挙体制の強化を図る</p> <p>1 現有資機材の充実強化 9 3 7 万 7 千円</p> <p>防弾・突入用資機材の整備 (防弾盾、防弾衣など)</p> <p>2 新たな資機材の導入 2, 5 2 8 万 7 千円</p> <p>防弾車(1台)の整備</p>

【審査の考え方】  
銃器使用等立てこもり事件等への確に対応するため、当該資機材の整備の必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要																								
<b>新</b> 4 警察職員の増員に伴う経費 (非常勤職員経費)		126,777 〔諸収入 12,518 一財 114,259〕	126,777 〔諸収入 12,518 一財 114,259〕	警察非常勤職員の増員により、警察官及び警察職員の過重な負担を軽減補完し、県民の安全・安心な生活を確保する 非常勤職員の増員 計40人  ・交番相談員(現員 317人)  33人 1億257万9千円  ・留置管理業務専門員(現員 22人)  3人 1,059万6千円  <b>新</b> 捜査技能伝承官  3人 1,042万3千円  <b>新</b> 外国人共生対策支援専門員  1人 317万9千円  <b>【参考】過去の増員状況</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H16</th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察官</td> <td>305</td> <td>330</td> <td>330</td> <td>174</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>交番相談員</td> <td>20</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>留置管理業務専門員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		H16	H17	H18	H19	H20	警察官	305	330	330	174	0	交番相談員	20	42	42	42	50	留置管理業務専門員	0	0	5	3	3
	H16	H17	H18	H19	H20																							
警察官	305	330	330	174	0																							
交番相談員	20	42	42	42	50																							
留置管理業務専門員	0	0	5	3	3																							
<b>【審査の考え方】</b> 不在交番の解消による県民の安全・安心感の向上や、捜査技能・技術の確実な伝承などの必要性を認め、要求額を措置した。																												

警察本部

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要												
<p>新</p> <p>5 警察官の増員に伴う経費</p>		139,065 〔一財 139,065〕	139,065 〔一財 139,065〕	<p>政令定数の増員に基づく警察官の増員（63人）</p> <p>1億3,906万5千円</p> <p>【参考】過去の増員状況</p> <table border="1" data-bbox="1245 580 2040 663"><thead><tr><th></th><th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th></tr></thead><tbody><tr><td>警察官</td><td>305</td><td>330</td><td>330</td><td>174</td><td>0</td></tr></tbody></table>		H16	H17	H18	H19	H20	警察官	305	330	330	174	0
	H16	H17	H18	H19	H20											
警察官	305	330	330	174	0											

【審査の考え方】  
女性や子どもの犯罪被害の未然防止を図り、県民の安心・安全を確保するため、要求額を措置した。

警察本部